

sola project demo

今回の変更点

- 設定ファイルの構成を変更

`main.py` の上部にて指定していたパラメータが `params_comfy.json` に移動しました。

使用方法

```
python3 main.py (params_comfy.json)
```

実行時引数としてパラメータのjsonのパスを要求します。

設定すべき項目

- `endpoints.py`: エンドポイントの指定
- `params_comfy.json`: 素材フォルダ、生成フローの指定、パラメータの設定

`params_comfy.json` が通常ワークフローの例です。

`params_comfy_by_character.json` がキャラ別生成フローの例です。

パラメータファイルについて

```
{  
  "material_folder": "test", # 素材のフォルダ  
  "user_name": "lovemachine", # ユーザー名 (任意)  
  "job_name": "test", # ジョブ名 (任意)  
  "output_path": "test.gif" # 動画を保存したいパス  
  
  "workflow_name": "by_character",  
  "parameters":{
```

`"workflow_name"` にてワークフローの指定が行えます。 `"default"` または `"by_character"` を指定してください。

以下前回から変わらない点

環境構築

```
git clone https://github.com/YutoGCN/deploy-demo
```

```
cd deploy-demo
```

```
pip3 install -r requirements.txt
```

エンドポイントの設定

```
BASE_URL = ""
```

`endpoint.py` の `""` の間にお渡ししたエンドポイントのurlを入れてください。

各種パラメータの説明(1)

通常ワークフローでは3種、キャラ別生成フローでは1種のLoraを指定できます。

`PARAM_LORA_x_NAME` にて `"angel¥¥¥angel_man_test00.safetensors"` か `"angel¥¥¥angel_woman_test01-000120.safetensors"` のどちらかを指定してください。

`PARAM_LORA_x_STRENGTH` はLoraの強さで、0.0から1.0の値です。
Loraを適用しない場合は `PARAM_LORA_x_STRENGTH` を0.0としてください。

各種パラメータの説明(2)

"PARAM_PROMPT" にはプロンプトの文字列を入れてください。

"PARAM_UPSCALE" は0.7から1.0の値にしてください。

"PARAM_DENOISE" は0.0から1.0の値にしてください。

各種パラメータの説明(3)

`"PARAM_CONTROLNET_x_STRENGTH"` はcontrolnetの強さです。それぞれの適用先は以下です。

`"PARAM_CONTROLNET_1_STRENGTH"` :
control_v11p_sd15s2_lineart_anime_fp16.safetensors

`"PARAM_CONTROLNET_2_STRENGTH"` : lightingBasedPicture_v10.safetensors

`"PARAM_CONTROLNET_3_STRENGTH"` :
control_v11f1e_sd15_tile_fp16.safetensors

`main.py` の実行

```
python main.py (params_comfy.json)
```

以下が順に実行されます。待機/実行中にCtrl+Cすることでジョブを停止させることができます。`main.py` も同時に終了します。

- ジョブの投入
- 待ちがある場合待機
- 実行（進捗が表示されます）
- ダウンロード